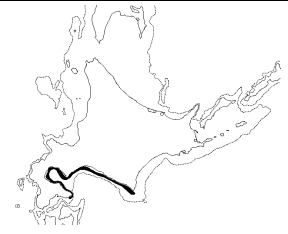
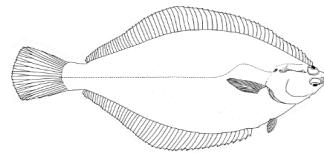


# 14.マガレイ

主な漁業と漁期  
刺し網：主に5～6月  
沖底漁業：9～翌4月



## 道南太平洋海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

襟裳岬から恵山岬に至る大陸棚以浅の沿岸域に分布します。産卵期には水深20～35m付近まで接岸しますが、産卵後は再び沖合に向かいます。

#### ◆産卵期・産卵場

◎産卵期は5～7月で、盛期は6月上旬～7月上旬です。

◎産卵場は、主に勇払沖の水深20～40mの細砂～粗砂域です。

#### ◆成長・成熟

(5～6月時点)

	全長(cm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
1歳	22.9	23.3	149	168
2歳	23.4	26.4	158	251
3歳	25.0	30.3	196	394
4歳	26.6	33.3	241	537
5歳	28.6	35.4	319	662
6歳	30.0	38.0	367	804
7歳	32.6	41.1	420	984

\*) 2009～2018年における漁獲物測定資料より

◎成熟年齢・全長

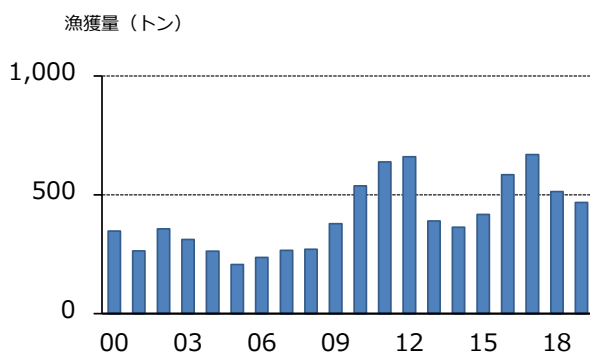
- ・オス：1歳から成熟を開始し、全長18cm以上で半分以上の個体が成熟します。
- ・メス：1歳から成熟を開始し、全長20cm以上で半分以上の個体が成熟します。

### 資源評価

[評価年] 8月～翌7月

[資源量の指標] 漁獲量

2019年度の漁獲量は468トンで、前年より減少しました。2017年級の加入が見られたものの、2019年度の資源水準は下がり、中水準となりました。近年漁獲量が500トン前後で推移し、CPUEが80kg/隻以上を維持していることから、翌年にかけての動向は横ばいと判断されました。資源管理協定に基づき小型若齢魚の保護が実施されており、概ね適切な利用状況下にあると考えられます。



2019年度  
の水準



中水準

2020年度  
の動向



横ばい

### 資源の維持・増大のために！

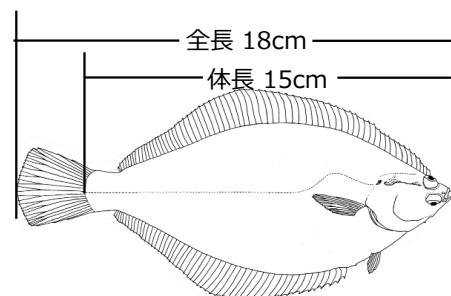
資源管理の現状(主なもの)

○資源管理協定(2019年3月更新)

関係漁業者間で体長15cm又は全長18cm未満の未成魚保護を目的とする漁場移動や海中還元(底建網)を定めています。

○その他

漁業権行使規則等で操業期間、漁具の制限等を定めています。



☆資源の有効利用のため、現状の取り組みの継続が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
電話 0143-22-2327